

大塚ホールディングス株式会社 2011年度 第一四半期

質疑応答要旨

日：2011年8月9日

Q1: 研究開発費については、アライアンス費用なども含めた上で、進捗が穏やかである状況なのか。

A1: その通り。今後のOPC-34712のP3進行および、アライアンスを含めての計画。

Q2: NC事業の1Qでの利益率がいいが、今後も続くのか。

A2: 7月も暑い日が続いたので、いい状況は続いている。ただ、昨年7月は猛暑だったので、ハードルは高い。NC事業に関しては、季節変動が大きいので、1Q、2Qの利益率が通年に比較すると高い。

Q3: 新製品(アロキシ、アブラキサン、イーケプラ)の進捗状況について。

A3: アロキシは好調。アブラキサンは適応症が限定されているため、若干遅れをとっている。イーケプラは9月以降に長期処方が可能になるので、今後期待している。

Q4: ABILIFY原末。輸出の数字開示はあるのか

A4: 本数値は非開示。

Q5: ABILIFY。米国2Qは堅調だか、一時要因はあるのか？

A5: 新たな施策による効果が昨年の4Qから結果が見え始め、現在もその状況を保っている。7月も堅調である。

Q6: 研究開発費について。社内計画通りか。

A6: 現状、予定通り。

Q7: OPC-34712のP2データについて。体重増加が気になるが。

A7: 用量設定試験を現在P3で行っており、詳細データは開示できないため、もう少しお待ち頂きたい。OPC-34712のP3試験については、うつは7月にFirst Patient Inが確認され、統合失調症については、近々発表できる状況。

Q8: 当1Qの税率が低い理由。

A8: 前期と比べ税率が下がっているのはABILIFYの原末前倒し出荷により、RD費控除が多くとれたため、一時的に税率が下がっている。通期では35%位になる予定。

Q9: ABILIFYについてのBMSとの契約更新により利益率が上がっているというのはどこで分かるのか。

A9: 医療関連事業の販売促進費が前年同期比33億円減であり、この部分の大半がABILIFYの契約改定による利益貢献である。大半というのは、おおよそ80%~90%と考えて頂いて良い。

Q10: 7月のポカリスエットの状況。

A10: 数量ベースで、108%です。

Q11: NC関連事業における原価が9億円増の理由。

A11: 売上が上がっているため。率では下がっている。変動費の増加である。

Q12: 広告宣伝費、販促費などのコスト削減はこの1Qのみか。通期で続くのか。

A12: コストは基本的には横ばいで効率的に使う。削減できるところは努力していく。

Q13: IMデポの申請スケジュールは秋で良いか。

A13: スケジュール通り。

Q14: ライセンス許諾に伴う一時金収入の計上変更は、外部顧客に対する売上高(補足資料P.2)において、医療関連事業の北米に計上されているのか？

A14: その通り。

Q15: IMデポの技術は導入しているのか？

A15: 自社技術。

Q16: 医薬関連事業で、売上が51億円増えて、原価が2億円しか増えてない理由は。

A16: 基本的にはABILIFYの売上増。

Q17: NC関連事業のその他地域について、円ベースで4.4%伸びているということだが、何がどこで伸びているのか、詳細を教えてください。

A17: 為替の影響もあるが、インドネシアのポカリスエットが20%近く増えている影響が一番大きい。

Q18: 説明会資料P.3における為替相場の影響について医療とNCで分けられるか。

A18: 売上については、医療で105億円、NCで25億円。営業利益では医療で39億円、NCで2億円。

Q19: 説明会資料P.3における為替相場の影響について、営業利益に与える影響額が大きくなっている理由は。

A19: ABILIFYの前倒し出荷、研究開発費の進捗が主に影響している。為替感応度は通期で変わっていない。

Q20: ABILIFYの値上げの状況について。

A20: 今年に入って、1月に6.9%、6月に3.5%、全体で約10%値上げした。去年は1月と7月に6%強の値上げをしている。

Q21: NC関連事業の営業利益率について、昨年2Qの利益を上回るのか？

A21: 期毎ではなく、通期で考えている。2Qについては、去年が猛暑もあったので、ハードルは高いが、努力していく。

Q22: 消費者関連事業の状況について。

A22: 震災の影響で水への需要が高かったという要因もあったが、今後も努力していく。

Q23: 米国ABILIFYについて、足元が若干スローダウン気味のようだが。

A23: スローペースなのは週ベースで見たとき。7月、8月は夏休みなどがあり、例年の傾向であり、気にする必要はないと考える。

Q24: ABILIFYの見込みについて、現状のままいくと、下期でマイナス4%になるが、何かリスク要因があるのか。

A24: 米国の医療制度改革により、値引き幅がさらに広がる可能性があるという点がリスク要因であると考えている。為替の影響などを踏まえ、予算はかなり厳しくたてている。ドルベースでは上回ると思う。

Q25: 販管費について。研究開発費以外の販管費は2011年度見込みでは200億円以上あがる予算であるが、この1Qで前年比マイナス50億円。予算通りで進捗する予定か？

A25: 予算ベースで推移する。

Q26: 配当について。今期上期の20円というは考え直す余地はあるのか。

A26: 現状変更なし。